

平成19年度病害虫発生予報第3号(6月予報)

○ 6月は農薬危害防止強化月間です。

<お知らせ>

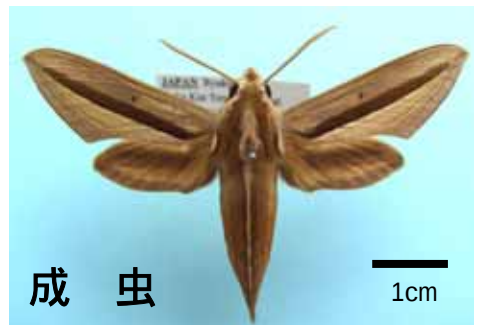
○ 北部駐在は農業研究センター名護支所内へ移転しました(裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

イッポンセスジスズメ (ミズイモ)

学名: *Theretra silhetensis*



生態と被害

卵は葉裏に1個ずつ産卵され、幼虫は緑色と暗褐色～淡褐色の二型がある。若齢幼虫は葉裏の表皮だけを残して食害するが、中齢幼虫は葉脈を残して葉を食害し、5齢を経過後葉をつづりその中で蛹になる。蛹態で越冬する。被害は5月頃から発生し始め、8～9月が多くなる。多発すると圃場全体に被害を与えることがある。ミズイモを食害するスズメガ類の幼虫のほとんどは本種である。近年、幼虫に寄生する天敵が確認されている。

予報の見方

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。